

2007年度より胃検査の内容が変わり、ヘリコバクター・ピロリ菌も検査することになりましたので、以下をお読み下さい。

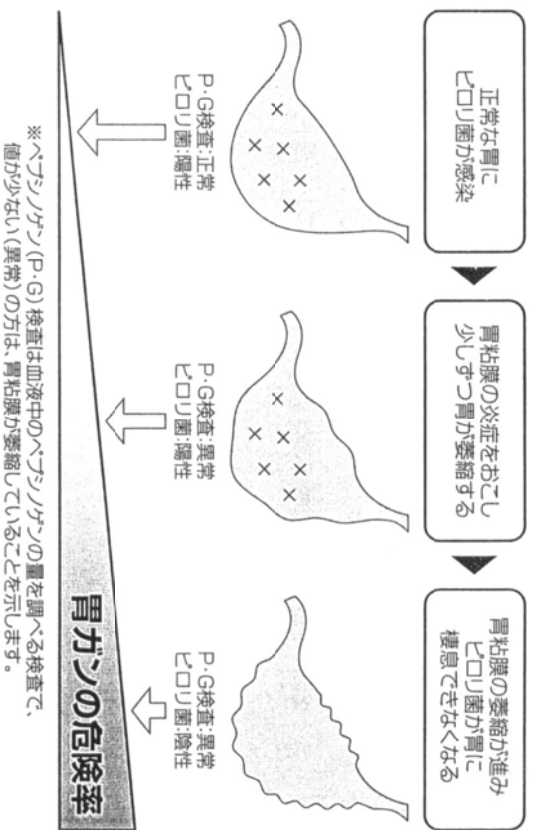
### ヘリコバクター・ピロリ菌とは…

ピロリ菌とは、人間の胃の中に住んでいる細菌です。  
 ピロリ菌は胃の粘膜に好んで住みつき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍や胃炎の人の粘膜でよく検出されます。とくに胃潰瘍や十二指腸潰瘍、慢性萎縮性胃炎の人に高率で発見されているため、その原因菌と考えられています。

### ピロリ菌に感染すると…

ピロリ菌の感染経路、予防方法についてはまだよくわかっていませんが、口から胃の中に感染するといわれています。厚生労働省研究班による研究において、ピロリ菌に感染したことのある人の胃ガンのリスクは、感染したことのない人の約10倍ともいわれています。

### ピロリ菌が感染した胃はどうなるの??



### 胃検査の結果の見方について

総合判定	区分	ヘリコバクター(P・G)	ピロリ菌	精密検査の有無
正常	①	正常	陰性	精密検査は不要です
		正常	陽性	3年に一度の精密検査が必要です
		異常	陽性	2年に一度の精密検査が必要です
異常	②	異常	陰性	1年に一度の精密検査が必要です
		異常	陽性	精密検査が必要です
	③	異常	陰性	



### 生活習慣の注意について

ピロリ菌感染で直接胃ガンになるということではありません。ピロリ菌の感染により、胃粘膜の萎縮が進みます。胃粘膜が萎縮すると、慢性的な胃炎(萎縮性胃炎)となり、胃潰瘍や胃ガンになるリスクが高くなります。

ピロリ菌の検査やペプシゲン(P・G)検査は胃の異常を見つけるための検査です。

胃ガンは、遺伝や個人の体質、食事の環境要因が重なって発症するものと考えられています。今までの研究においても、喫煙、高塩分食、野菜不足などが胃ガンのリスク要因であることもわかってきていますので、このような生活習慣をまずは改善し、定期的な胃検査を受けることをおすすめします。